

キャラクター名  
神鳥 灘 (かんどり なた)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ブラックドッグ		ワークス	ボディガード	カヴァー	警官
	オプション		年齢	29 (6年前)	性別	男
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	32 %	
出自	結社の一員	経験	一匹狼	邂逅	ビジネス (谷修成)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	39
肉体	5	1	3			9	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	1	0	0			1	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転：四輪	2		芸術：			知識：			情報：社会 (コネ権あり)	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：書物 (コネ権あり)		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
一角鬼	白兵	9r+4	1	6+8		マイナー/侵蝕3/攻撃力14 (羅刹の効果適用)
		0				
小細工は不要	白兵	11r+4	1	14+4		侵蝕6/コンセ+獣の力+アームズリンク/攻撃力18
@100-	白兵	15r+4	1	15+6		攻撃力21

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：情報屋	
コネ：警察官	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス：羅刹	P	N		
両親	P 懐旧	N 嫌気		
シナリオ：谷修成	P 感服	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果： C値-Lv (下限7)								
一角鬼	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果： シーン中、種別:白兵/技能:<白兵>/命中:0/攻撃力:[Lv+5]/G値:2/射程:5m に素手のデータを変更								
アームズリンク	2	2	メジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果： 判定ダイス+Lv個								
獣の力	2	2	メジャー	武器	単体	白兵	-	
効果： 攻撃力+[Lv*2]								
バリアクラッカー	1	4	メジャー	武器	-	白兵/射撃	80↑	
効果： ガード不可/カバーリングした場合、ガードを行ったものとしてダメージ算出できない/装甲値無視/1シナリオLv回								
旅する魔獣	★	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果： 鳥や魚などの超長距離の移動に適した姿に変化する								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

【概要】

レネゲイド関連事件担当独立捜査課、通称「R担」に所属するオーヴァードの警察官。  
 要人警護を担当することも多い(いわゆるSPのような役回り)が、その手段は「攻撃は最大の防御」である。  
 頭は悪くないはずだが、何事も小手先より力業で解決することを好む。  
 正直なところ脳筋と言われても仕方がない。本人も否定しない。  
 曰く、「オーヴァードを相手取るなら一瞬の遅れが命取り」とのこと。

危ない仕事の後でも平然とした様子で帰ってくるため(無傷というわけではない)、  
 まだ本気を出していないとか、どんな強敵でも屑鉄のように畳んでしまおうとか、実はターミネーターだとか、恐ろしい噂がある。  
 コードネームが彼の外形を表していると言ってもいい。  
 実際には仕事で手を抜くことはないし生身の人間だが、金属を物理的に畳めるのは本当。

あまり警察官らしくないのは確かで、組織ではなく自身の理念に忠実。従うべきものは自分で選ぶ、扱いづらい部類の人物。  
 幸い、現在の上司である谷修成とは相性がいいようだ。

【備考】

普段は動物の姿で街を監視していることが多い。お呼びとあらばどこへでも、それこそ海外でも身一つで移動できるのがウリ。  
 好んで変じる姿はモズ。普段のイメージとのギャップが激しいと評判。  
 ちなみに、海外では「神鳥 灘」という名はあまり使わない。  
 「Can dream...?」「Nada...? (※「nothing」のスラング)」などと聞き直されるのが面倒なためであり、特に深い意味はない。